

各所属における令和4年度の実績と令和5年度の実績計画

NO	所属	令和4年度の実績報告	令和5年度の実績計画
1	三重病院	<p>三重県のアレルギー疾患対策事業の一環として「三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修」が令和2年度より実施され、三重病院が企画運営を担当しているが、令和4年度も同様に実施した。コロナ禍のため、昨年度に引き続き、オンライン開催となったが、7名（薬剤師3名、看護師2名、管理栄養士2名）が参加した。小児期～成人期までのアレルギー疾患についての講義と患者指導の実際のオンライン実習、グループワークを行った。しかし、例年よりも参加者は4分の1と少なく、次年度は周知をさらに進める必要がある。</p> <p>また三重病院アレルギーセンターでは患者相談事業（電話相談）を継続して実施し、県民より寄せられた相談に対応した。その分析結果は学会報告した。</p> <p>令和2年度に県の事業として行われた調査（花粉症、乳幼児アレルギー）では三重県における花粉症と乳幼児アレルギーの実態が明らかとなったが、その学術的解析結果は日本衛生学会の学術誌（IF4.4）に掲載され、新たなエビデンスとして発信した（Takase T, Nagao M, Kanai R, Nishida T, Arima T, Iwai F, Yamada S, Nakamoto M, Hirayama M, Fujisawa T. Intake of allergenic foods at 1.5 years and 3 years of age in a general child population in Japan: a cross-sectional study. Environ Health Prev Med 2023; 28: 6-14.）。</p> <p>学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の運用実態の調査を三重県教育委員会と共同で実施して、結果が日本小児アレルギー学会誌に掲載された（岩井郁子, 松永真由美, 金井怜, 高瀬貴文, 安田泰明, 山田慎吾, 浜田佳奈, 中本牧子, 野上和剛, 長尾みづほ, 藤澤隆夫. 三重県における学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の現状と問題点. 日本小児アレルギー学会誌 2022; 36: 477-484.）。</p> <p>「アレルギーポータルみえ」による情報発信を継続した。</p> <p>原因不明のアナフィラキシー症例（小児～成人）を県内の病院からご紹介いただき、原因検索、原因に基づく生活指導を行っている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成講座の企画運営周知を十分に行う。より効果の高い対面研修とする。 2) 患者相談事業（電話相談） 継続する。 3) 「アレルギーポータルみえ」による情報発信 三重県医師会と協力して、アレルギー診療ネットワークみえの情報アップデートを行う。 4) 原因不明アナフィラキシー例をご紹介いただき、特殊検査などで原因特定を行う。
2	三重大学医学部附属病院	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年2月2日（木）18：00～20：00に、第39回三重県アレルギー研究会をzoom開催した。当番世話人は眼科の近藤峰生先生で実施。一般講演と特別講演の構成で、特別講演では東京女子医科大学 眼科学講座 高村悦子先生の「アレルギー性結膜疾患の最新の治療」を講演いただきました。 ・2023年2月19日（日）9：00～11：00アレルギー週間市民公開講座をzoom開催し、一般市民への啓蒙活動を行った。内容は、講演1「正しく知ろう！アレルギー性鼻炎のこと」当院耳鼻咽喉・頭頸部外科 坂井田寛先生、講演2「一緒に学ぼう！こどものアレルギー」三重病院小児科 岩井郁子先生。 ・都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の活動として、また、アレルギー領域の新専門医制度の準備の一環として県内関係施設と症例検討会を原則1か月に1回実施。 	<p>2024年2月頃に、第40回三重県アレルギー研究会 2024年2月頃に、アレルギー週間市民公開講座 日本アレルギー学会のアレルギー専門研修プログラムについて進捗管理する。</p>

各所属における令和4年度の実績と令和5年度の実績計画

NO	所属	令和4年度の実績報告	令和5年度の実績計画
3	三重県医師会	<p>・本会主催のスタッフ養成講座を後援し、アレルギー疾患に関する情報を県民に啓発・県及び市町教育委員会や学校と連携した。また学校現場におけるアレルギー疾患対策を学校医が中心となり啓発推進しました。</p>	<p>・医師の生涯教育におけるアレルギー疾患に係る講座を提供する ・本会主催県民公開講座あるいはスタッフ養成講座等を後援し、アレルギー疾患に関する情報を県民・医療スタッフを対象に啓発する ・郡市医師会等が主催するアレルギー疾患に関する公開講座等への後援を行う ・県及び市町教育委員会や学校現場と連携し、学校現場におけるアレルギー疾患対策を学校医が中心となり啓発推進、学校保健・健康教育に引き続き参画する。</p>
4	三重県薬剤師会	<p>三重県薬剤師会としての取り組みは特にありませんが、地域薬剤師会におきましては学校からの要望に応じて学校教員に対するエピペンの指導を実施している地区もあります。また市町からの依頼を受けて、スキンケア教室や食物アレルギー講習会を実施している市町もあります。</p>	<p>三重県薬剤師会としての計画はございませんが、引き続き各地域薬剤師会や市町においてアレルギー疾患関連の教育や啓蒙活動に取り組む所存です。ただ講師になる人材が少ないため、これらの講義ができる人材育成も必要かと考えております。</p>
5	三重県栄養士会	<p>①離乳食教室や3歳児健診での食物アレルギー相談や情報提供の実施 ②病院や福祉の食物アレルギー疾患を有する患者様への個別対応による情報提供 ③調理場における食物アレルギー事故防止の取り組みの促進</p>	<p>①離乳食教室や3歳児健診での食物アレルギー相談や情報提供の実施（継続） ②病院や福祉の食物アレルギー疾患を有する患者様への個別対応による情報提供（継続） ③調理場における食物アレルギー事故防止の取り組みの促進（継続） ④三重県栄養士会会員を対象としたアレルギーに関する研修会の開催</p>

各所属における令和4年度の実績と令和5年度の実績計画

NO	所属	令和4年度の実績報告	令和5年度の実績計画
6	三重県病院協会	①アレルギー拠点病院（三重病院・三重大学病院）と各医療機関との連携強化を目的とした標準的治療の普及・推進活動及びネットワーク構築の協力要請に対して協会として支援する。 ②アレルギー専門研修を目的とした研修支援の要請に応じて協力する。 ③アレルギー疾患のキャリアパスについての説明会・講演会などが開催されれば協力する ④小児科標榜の基幹施設でアレルギーエデュケーター（PAE）の育成推進支援の要望があれば協力する。 ⑤長期フォロー体制が必要となる疾患であるため、シームレスに治療継続が可能となるよう病診連携体制を充実させ、専門医の治療介入が容易となる環境づくりに協力する。	引続き令和4年度の協力・支援体制にて取り組みを継続していく。
7	三重県看護協会	看護職対象にした研修会 ① 気づく・考える・実践に活かせるフィジカルアセスメント「呼吸・循環」 日：令和4年6月10日 ② 気づく・考える・実践に活かせるフィジカルアセスメント「意識障害・腹部」 日：令和4年6月17日 ③ 基礎から学ぶフィジカルアセスメント 日：令和4年5月27日 ④ ワクチン接種会場での急変対応 日：令和4年12月21日	①気づく・考える・実践に活かせるフィジカルアセスメント「呼吸・循環」 ② 気づく・考える・実践に活かせるフィジカルアセスメント「意識障害・腹部」 ③基礎から学ぶフィジカルアセスメント
8	三重県歯科医師会	アレルギー疾患を含めた患者の急変による講習として、令和5年2月9日（木）にヴィアトリス製薬株式会社から「エピペンの講習」と、新潟大学大学院 医歯学総合研究科歯科麻酔学分野の岸本直隆 准教授による「歯科医院における患者急変対応の習得を目的とした歯科麻酔学教育」と題した講習を行った。	メタルフリーな材料についての講習を検討している。

各所属における令和4年度の取組と令和5年度の取組計画

NO	所属	令和4年度の取組報告	令和5年度の取組計画
9	三重県市町保健師協議会	<p><母子保健事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小児アレルギー疾患保健指導のてびき」等を参考に育児相談を実施 ・ 母子保健事業における離乳食用室や乳幼児健康相談等の事業の中で乳幼児のアレルギーに関する啓発や相談に対応 ・ 乳幼児の健康相談・栄養相談（個別対応 オンラインでも可）母子健康教育（離乳食教室等）における情報提供幼児健診における栄養指導（必要な児への個別指導） ・ 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査、子育て相談、新生児訪問等における保健師・栄養士による個別指導（スキンケア、食事、環境整備等） ・ 離乳食教室における啓発（アレルギー対策を踏まえた食品の進め方） ・ 母子保健事業では、離乳食教室でアレルゲンの一つである卵の進め方について管理栄養士の講話と固ゆで卵の作り方の実演を実施。離乳食教室、乳幼児相談および幼児健診では栄養士・保健師が個別の栄養相談を行い、アレルギーの相談も実施 ・ 出生届出時、乳児訪問時にスキンケアの重要性を保健師から指導 ・ 乳幼児相談で栄養士が中心に相談に対応 ・ 離乳食教室や、乳幼児相談、健診でのアレルギーに関する相談や情報提供の実施 ・ 妊産婦・乳児訪問、育児相談、幼児健診時等にアレルギーの有無や経過の確認 ・ 赤ちゃん訪問、健診・健康相談時において保健師によるスキンケアの相談の実施 ・ 母子保健事業（離乳食教室、乳幼児健康相談、各種乳幼児健康診査等）において、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎の相談があった場合は、個別に管理栄養士・保健師による相談体制をとっている。医師からの市町への指示があった場合も、主治医と連絡を取りながら栄養指導 ・ 4か月児・10か月児健診（集団）における管理栄養士のアレルギー相談 ・ 4か月健診時に三重病院作成の「赤ちゃんのスキンケアと離乳食」を配布 ・ 離乳食教室でのアレルギーに関する管理栄養士の講話 ・ 子育て相談における管理栄養士・保健師のアレルギー相談 ・ ファミリーサポート養成講座でのスキンケアに関する保健師の講話 ・ アレルギーに関する講座を市内薬局の薬剤師を講師に、子育て支援センターにおいて開催 ・ 乳幼児食講座で、食物アレルギー児の備蓄の必要性を周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の取り組みを継続して実施 ・ 引き続き、研修会等で得た情報を共有し、事業に活用していく。

各所属における令和4年度の取組と令和5年度の取組計画

NO	所属	令和4年度の取組報告	令和5年度の取組計画
9	三重県市町保健師協議会	<p><保育園・学校関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所献立担当の栄養士が入園にあたってアレルギーの有無や詳細を聞き取りし、対応 ・ 母子保健担当栄養士、保育園担当栄養士、学校栄養教諭が途切れなく支援ができるよう連絡会議を実施 ・ 栄養士による、食物アレルギー疾患を有する園児への情報提供 ・ 入園時に全員に食物アレルギーの有無を確認し、対応を周知。食物アレルギーのある児に対して、入園時に保護者と保育園と栄養士が対応を確認し、入園後は毎月食物アレルギーチェックを書面上で実施 ・ エピペン保持等重症児については、毎月献立チェック会を実施し、保育士、調理員、保護者、栄養士で対面にて確認。※保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表 ・ 食物アレルギーのある園児に対して、家庭での様子を年2回、医師の指示を書面にて最低年1回提出してもらい確認 ・ エピペン保持の園児の情報を広域消防と共有 ・ 就学時健診時にアレルギーの有無や治療状況の確認し、小学校と情報共有 ・ 町立保育園及び町立学童保育では、アレルギー相談を管理栄養士が行い、代替え食の提供 ・ 保健師がエピペントレーナーを管理しており、町立小学校等の研修時に貸し出しを実施 <p><成人保健></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人保健事業における出前講座などの健康教育で、アレルギー疾患に関する講話の依頼などがあった場合に啓発を実施 ・ 健康相談、栄養相談の実施（事前予約の個別対応 オンラインでも可） ・ 健診・健康相談時等において管理栄養士による食物アレルギーの相談の実施 ・ 健康度測定会でじんましん等アレルギー症状の相談がある時には聞き取りを行い、医療機関につなぐ ・ アレルギー疾患の方が安全に予防接種を受けていただけるよう、予診票にアレルギーの記載欄を設けている 	前ページに記載

資料2

各所属における令和4年度の実績と令和5年度の実績計画

NO	所属	令和4年度の実績報告	令和5年度の実績計画
10	三重県保健所長会	<ul style="list-style-type: none"> ・食品表示法に基づく、加工食品に含まれるアレルギー表示についての相談対応、指導（必須表示品目：えび、カニ、小麦、そば、卵、乳、落花生（ピーナッツ）） ・「三重県災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン」の周知、啓発（アレルギー対応食の備蓄など） ・給食施設や飲食店、食品関係事業者等への監視、指導（アレルギーに対応した個別食事提供、食品製造過程でのアレルゲン混入防止など） 	<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、病院や社会福祉施設への介入は限定的であったが、令和5年度については、食品監視指導計画に基づき取組を実施するとともに、食品表示法に基づくアレルギー表示の相談対応や啓発についても継続して実施していく。</p>
11	三重県教育委員会事務局 保健体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校におけるアレルギー疾患対応の手引《令和2年度改訂》」に基づいた対応 ・市町健康教育担当者連絡協議会等での手引の活用や事例報告等の情報提供 ・アレルギー疾患対応検討委員会 ・学校におけるアレルギー対応に関する調査 ・「学校生活管理指導表」の現状把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」及び「学校のアレルギー疾患対応の手引《令和2年度改訂》」の周知 ・市町健康教育担当者連絡協議会等での手引の活用や事例報告等の情報提供 ・アレルギー疾患対応検討委員会 ・学校におけるアレルギー対応に関する調査 ・「学校生活管理指導表」の課題について検討
12	三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー療養指導スタッフ養成研修会の開催 ・県ホームページ、Twitterを利用した周知、啓発 ・乳児のスキンケアと離乳食に関する啓発パンフレットの配布 ・県立図書館（令和5年3月）において啓発パンフレットを展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー療養指導スタッフ養成研修会の開催 ・医療従事者向け講演会の開催 ・アレルギー診療ネットワークみえの更新に向けた医療機関への調査の実施 ・県政だより、県ホームページ、Twitter等を利用した周知、啓発 ・県主催イベント等での周知、啓発